

鹿兒島の小学校

「多面的に把握するためだ
った」と説明したが、反
委は「子ども同士で互い
のマイナス面の評価をさ
せるのは配慮に欠ける」
と指摘。

アルミ板をハンマーで打ち出す技術で新幹線の「顔」である先頭車両を製造してきた山口県下松市の板金加工会社、山下工業所が、アルミ板からチェロを作った。写真、藤協正真撮影。15日から東京の日本科学未来館で開かれる「ものづくり展」で披露する。

同社は3次元の繊細な曲線を手作業で作る出す技術が看板で、63年の創業以来、約300両分の新幹線の先頭車両

音色 新幹線譲り？

を製造。昨年には「ものづくり日本大賞」特別賞も受賞した。チェロ製作は「優美な曲線を生み出す技能をよく表現できる」と山下竜登専務が発表した。

山口の板金会社 アルミ加工応用

フランスの王に献上されたという現存する最古のチェロの図面を米国の博物館から取り寄せた。職人が型板に合わせハンマーをふるい、10日

間ほどで完成させた。

重さは約10kgで、普通のチェロの3倍以上。木製の柔らかい響きを出すにはもう一工夫必要で、今後はもっと薄い板にしたり素材をチタンに変えたりして、よりきれいな音を目指すという。

山下専務は「世界的奏者のヨーヨー・マさんに弾いてもらうのが目標。バイオリンとピアノもつくって弦楽四重奏もしたい」と夢を膨らませる。

